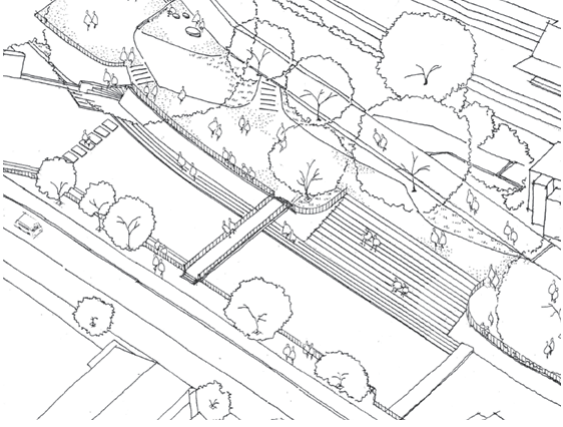


第2回 高尾山口駅前ふもとと公共空間形成・活用 WS 水辺班まとめ

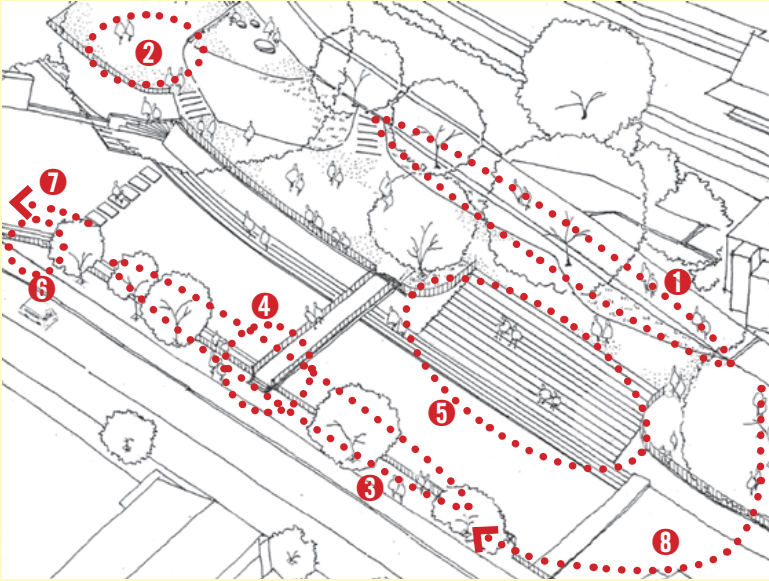
Step 1 班毎で（1班と2班に分かれて）検討

検討題材（事務局検討案）	1班での検討内容と推薦案	2班での検討内容と推薦案
共通の考え方 ・水辺への親水性を確保した憩いの場とする ・水辺に降りて、川の中で遊べる場とする	推薦案：A案	推薦案：A案
A案 水辺を近くに感じられる整備  ●水辺への親水性や開放感を高め、水辺での活動の幅を広げることを優先した案	A案への意見 ●評価ポイント ・駅から出て開放的なのがよい。 ・多くの人が登ってゆっくりできる場所ができる（とどまれる）点が良い。 ・夏場は気持ちよいと思う。 ・B案だと急な階段になるので、階段一段の高さを小さくした幅広のA案が良い。 ●A案を評価する上での条件 ・水辺への視認性が高まるため、水質をきちっと管理することが前提。安全性の確保も重要。 ・ゴミも含め、できた後の運営管理をきちんとすることが重要。行政側で清掃できないか。 ●より良くするための改善アイディア ・青葉橋は手すりがなくて使いにくい。階段部分は急でない方が良く、手すりも欲しい。 ・水辺に降りるのに階段以外にスロープもあった方がよい。ゆるやかにして手すりも欲しい。 ・水量少ないとぬめりが出てくるが、技術的に改善できるのか。→湾処（滞留場所）に浄化設備を設置する手法があるが、ここはそのような場がなく、定期的な清掃が重要。 ・回遊性を考える上で右岸側の階段の作り方が大事！勾配や手すりなど、使いやすくする必要がある。 B案への意見 ・冬場はB案でもよい。 共通の意見 ●整備の目的を明確化 ・そもそも何のために整備するのかを明確にする必要がある。 ●来訪者と地域住民の動線を分ける ・人が一極集中しているので分散させることも重要（地元の人への配慮） ●駅間を結ぶ歩行空間を確保 ・既存の歩道空間は狭いので、広場側の空間を一体的に使えるように考える（例、舗装を合わせる、段差をなくす） ●飛び石 ・飛び石があれば、近くに階段がなくても、水辺に親しめる ・飛び石へのアプローチの仕方が大事。（例、周囲をスロープ、石段にする） ●農業用水路 ・田んぼをやっているが、水路はどうなるか？水がよく詰まって困っている。 ・水路は広場側で開渠にしてはどうか。流れが見えた方が良いのではないか。 ・水路は詰まるから直線的にした方がよい。 ●高尾の魅力をPR ・掲示などにより、高尾の良さを発信する。 ●防災面の対策の必要性 ・台風の時は水量がすごく、危険性を感じる。 ・実際に現地を見に来たり、地元の声聞いて欲しい。	A案への意見 ●評価ポイント ・水辺に近い感じがする。遠くから見た感じがよい。 ・通勤時に行き来しやすい。 ・住民の通勤通学と観光客の動線の分離を考えると、こちらの案が良い。 ●より良くするための改善アイディア ・見晴らしがよければより良い。（全体的に） ・改札から見えるくらいの階段が良く、演出を考えた方がよい。 ・階段は広々とくつろげるように。階段の幅を広くする（例、駅前ベンチ辺りから青葉橋まで、全面）。但し、樹木の保全是課題。 B案への意見 ・特になし 共通の意見 ●来訪者と地域住民の動線を分ける ・人の渋滞は地元の人が困っている。 ・回遊ルートが複数あると、例えば、来訪者は川の中を回遊し、通勤通学者は青葉橋を渡る、というように動線が分けられる。 ●広場と別の位置での階段の設置 ・青葉橋を利用して階段を作れないか。 ・右岸側にも水辺に降りられるものを作れると良い。その際、石積みの方との一体化は考える必要がある。 ・下流あたりにも階段があると良い。 ●河川内の遊歩道 ・橋の下もくぐれるようになると良い。 ・青葉橋と水辺の遊歩道がつながるようにできるとよい。 ・右岸側にも遊歩道を設置して、歩けるようにする、又は、自然を見せるようにするのであれば遊歩道は設けない。 ●河川内の堆積やゴミ ・河川の堆積は何とかして欲しい。 ・河川橋にゴミが引っかかり溢水したことある。 ・コンクリート堰により、河床が掘られる。 ●国道の整備 ・国道も巻き込んで整備するくらいが良い。 ・国道を整備時に巻き込むと調整に時間がかかり、事業が進まないのではやめた方がよい。 ●右岸側の民地 ・将来的には考えていくことが必要ではないか。 ●広場（南側の高台部分） ・人の集う場として活かす。

Step 2 班合同で（1班と2班と一緒に）検討

WS 推薦案

A案 水辺を近くに感じられる整備



＊「評価ポイント」、「整備に向けた今後の検討課題」は、班毎で検討した内容に、班合同で検討した内容を含めてまとめています

■評価ポイント

- ・開放的なのがいい
- ・水辺に近い感じがする
- ・ゆっくりできる場所ができる
- ・階段が急でなく降りやすい
- ・通勤通学と観光客の動線の分離ができそう

■整備に向けた今後の検討課題

水辺

全体

- ・色々と機能を欲張りすぎると人工的になってしまうので、そうならない工夫が大事。**ア**
- ・来訪者と地域住民の動線を分けることが重要。回遊ルートが複数あると、来訪者は川の中、通勤通学者は青葉橋を渡る、というように分けることができる。
- ・見晴らしをよくすることと、改札からの見え方の演出を考える。
- ・立ち寄ってみたいと思わせる工夫が大事。**ア**
- ・水質をよくする。
- ・農業用水路をきちんと再整備するとともに、開渠にしてはどうか。

護岸

- ・階段は広々とくつろげるように。階段の幅を広くする（例、駅前ベンチ辺りから青葉橋まで、全面）。但し、樹木の保全是課題。**【5】**
- ・回遊性を考える上では右岸側の階段の作り方が大事。勾配や手すりなど、上り下りしやすいものにする必要がある。**【6】**
- ・手すりやスロープを付けつつ、こう配を緩くして降りやすくする。
- ・防災面の対策が必要。

遊歩道

- ・橋と川の中の遊歩道を階段で連結させてはどうか。**【4】**
- ・橋の下もくぐれるようになると良い。
- ・右岸側は、遊歩道を設置、又は、自然を見せるために遊歩道を設置しない。石の護岸が見えた方が自然の雰囲気を感じられ、生物の住処にもなる。**【8】**

管理運営

- ・ゴミの管理が大事。**ア**
- ・作った後の使い方が大事。地元で丸投げでない対応とすることがあり、管理の方法もセットで考える。**ア**

広場

- ・タバコを吸う人などの対応のため、死角をなくすることが大事。**ア**
- ・高尾山口駅から清滝駅までの歩道は狭いので、広場側の空間を一体的に使えるように考える（例、舗装を合わせる、段差をなくす）。**【1】**
- ・人の集う場として活かす。**【2】**
- ・高尾の良さを掲示等でPRする。

周辺の回遊性

- ・国道沿いの店舗も考えると、西氷川橋から河川の右岸側を歩いてもらうことも大事。**【8】**
- ・回遊性を考える上では、遊歩道を伸ばして599辺りで登れるようにすることも考えられる。**【7】**